

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・暖房器具等の季節商材が売れないことによる客単価の下落を、食料品が埋め合わせている。惣菜関係や生鮮品を中心にいいもの、美味しいもの、価値のあるもの、安全安心なものが売れている。食品だけでなく、ある程度付加価値のある物が売れているため、現在のような品ぞろえを継続すれば、単価が少しずつ上がる。
		衣料品専門店（経営者）	・客の様子からも、景気はそう悪くない。この状況はしばらく続く。
		衣料品専門店（総務担当）	・ヤング、ミセスとも主力の婦人服売上は前年並みであり、この状況はしばらく続く。
		高級レストラン（専務）	・3月からの九州新幹線部分開業をきっかけとして、いろいろな業界、団体で活発な取組や会合が頻繁に行われており、期待が持てる。
		旅行代理店（従業員）	・個人客対象の低価格旅行商品の予約が順調に入っている。今後SARSが発生しなければ、旅行需要は回復する。
		通信会社（業務担当）	・携帯電話の価格が高値安定で、低価格商品の品ぞろえも少ない状況である。次世代携帯電話の高機能商品の発売を控え、買い控えも考えられるが、通話エリアが広がるため、新規契約需要及び買い換え販売台数も増加する。
		観光名所（職員）	・ゴルフ場観光施設は天候次第の業種であるが、前年に比べて増加する割合が少しずつ増えている。以前は一進一退であったが、ここ3か月は1～2%は確実に増えている。この傾向が今後も続く。
		競輪場（職員）	・競輪場では来月、年に1度のビッグレースがあるため、それが2、3か月後の普通開催においても売上増につながる。
	設計事務所（所長）	・住宅の着工件数は依然として伸びないが、その他の建築の引き合い、相談は若干増えている。将来的には良くなる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・ミセス衣料部門については、今後の増税等による懐具合を心配し、財布のひもが固くなる。
		商店街（代表者）	・消費意欲が冷え込んできた。特に勤労者層、個人事業者等で極端に購買意欲が悪くなっている。年金受給者、高齢者は意欲を持って高額品等を購入する動きもみられるが、数量的には少ない。
		商店街（代表者）	・中心商店街に明るい材料がなく、このまま悪い状態が続く。
		百貨店（営業担当）	・友の会金券の回収率が低い。不要な買物を控えており、婦人服の売上が今ひとつである。また、中旬以降の友の会満会金券への交換、新規入会があるが、共に例年より悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・客の節約意識は依然として高止まりしており、必要なものしか購入していない。
百貨店（売場担当）		・非製造業では少しずつ景気が上向いているようであるが、小売業は依然厳しい状況である。近くに新しいショッピングセンターができる等競争が激しくなっており、営業時間の延長等、何らかの策を講じなければならなくなっており、厳しい状況が続く。	
	スーパー（経営者）	・価格表示の改正による客の動向の変化が予想される。	
	スーパー（店長）	・価格表示改正の影響がどう出るかが心配である。	
	スーパー（総務担当）	・客の実感としての景気の動向はやはり好調とは思えず、消費マインドが冷えた状態が今後も続く。	
	コンビニ（エリア担当）	・商品価値ではなく価格に敏感な客の様子から、処分品以外の買上点数の向上は困難である。	
	コンビニ（販売促進担当）	・今月は売上を伸ばしたものの、自社の製造販売業の売上が伸びず、ボーナスも基本給の1か月分と非常に厳しい状況が続いている。周りの状況を見ても、ボーナスが出なかったり減額というところが多い。先行きはやはり不透明のまま変わらない状況が続く。	
	衣料品専門店（経営者）	・例年であれば単価の高い商品が売れていく時期であるが、客数に対して客単価が上がらず、メーカーも商品の在庫を処分するためにかなり価格を下げている。このような状況からセールでも売上は例年の8割程度となりそうである。この状況が今後も続く。	

		衣料品専門店（店員）	・特に良くなる材料が見当たらない。高額ブランド物の売上はまずまずいい成績を収めているが、そこそこの国産物が悪く、ここ1年は特に売上が伸び悩んでいる。低価格アジア産の商品等に食われていると思われる、その対策が今後必要である。
		家電量販店（店員）	・今月は例年並みの実績であった。1月には各社パソコンの新製品も出るが、微々たる変更過ぎず、新しいOSの発売も当分先であり、特に魅力を感じる商品がない。状況は今後変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約の状況等にはあまり変化がないが、今後BSEやSARSの影響があれば悪くなる。
		通信会社（総務担当）	・若干は販売量が下がってくると思われるが、そう大幅な減少はない。
		美容室（経営者）	・売上が上がる気配がない。年末も売上が伸びない状態であるため、これからあまり変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税が1年延長されることから、住宅需要に大きな落ち込みはない。
	やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・消費者の自己防衛が非常に激しくなっており、消費意欲の減退を感じる。
		百貨店（業務担当）	・今後2、3か月でこの環境が好転する社会的要因がない。社会保険料の個人負担増への不安から、消費は冷え込む。
		百貨店（営業企画担当）	・ギフト実績は、前年比約5%減で推移している。法人関係の受注減少もあり、厳しい状況が続いている。この傾向は今後も続く。
		スーパー（企画担当）	・暖冬が予想され、買い控え傾向が強くなる。今月よりも景気はやや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・競合店の出店に加え、近くのスーパーが24時間営業になり一層競争が激化する。他の小売業がコンビニと同じような営業形態をとることで、一層競争が激化し、1店舗当たりの収益が悪化する。
		乗用車販売店（従業員）	・整備入場台数が減っている。景気はやや悪くなる。
		住関連専門店（経営者）	・地域における景気の回復感はまだまだなく、耐久消費財に対して先行きの見通しは良くない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・1～3月の婚礼受注がかなり落ち込んでいる。当ホテルだけではなく、他のホテルも苦戦している様子である。婚礼は予算に対するウェイトが高いため、向こう3か月は厳しい状態が続く。
		旅行代理店（業務担当）	・旅行マーケットを支えている中高年齢層が、自衛隊のイラク派兵による戦争の不安やSARSの警戒感から旅行を控えている。さらに、サラリーマン層は社会保険料の負担増などで可処分所得が減っており、旅行需要全体が縮小している。
		美容室（経営者）	・入学シーズンであるが、少子化に加え、親も自分にかかるお金が限られているため、厳しくなる。
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街に人が来なくなっており、商売を辞める方がもっと増える。今のところ、商店街としては打つ手がない。
		百貨店（営業担当）	・ブローカー時代の売上が不調であるため、バーゲンに期待したいところだが、競合の閉店セールもあり期待薄である。米国でのBSE発覚による食品消費への影響が最小限にとどまる事を期待する。
		スーパー（店員）	・最近、競合店を含め広告が最低週に2回は入る。ひと昔のように消費者は買いためをせず、特売品と必要最低限のものしか買わない。小売店は厳しくなる。
		衣料品専門店（店長）	・暖冬の影響で重衣料が売れない。年末から早々と冬物バーゲンをすることを余儀なくされ、利益が上がらず、先行きは暗い。
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体部門は残業が続いている。この良い状況は今後も続く。
	やや良くなる	家具製造業（従業員）	・景気が底を打ち、上向きつつあることは受注額の上昇から感じられる。しかし状況は大変不安定であり、いつ逆戻りしてもおかしくない。
		輸送業（従業員）	・1日当たりの取扱量が前年並みに回復しつつある。この傾向は今後も続く。
		経営コンサルタント	・関東等ではかなり景気が上向いてきているという話を良く聞くが、熊本ではまだ実感が無い。しかし、景気が上向いているという話が方々で出てきたことにより、人々の気持ちも若干上向いている。

変わらない	農林水産業（経営者）	・鶏肉業界は、アメリカのBSEの影響でここ2、3か月は価格引上げが強くなると思われる。加工原料としての価格に影響が懸念される。	
	農林水産業（従業者）	・年明けより野菜全般に品薄感が強まると思われる。海外からの輸入増加が懸念され、需給改善、価格回復が期待できない。	
	食料品製造業（経営者）	・納入先の営業活動状況からは、前年の同時期を上回る要素は見受けられない。やや売上が減少するのではないかとという、悲観的な見方が強い。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・陶磁器業界は、以前は2～4月は売上が良かったが、今の情勢では12月と変わらない。低価格のものは中国製品になり、高価格の家庭用製品も売行きが悪い。この傾向は今後も続く。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連では多ピン部品の動きが非常に活発になっている。また、液晶関連の装置、ロボット関連並びに精密機械加工金型部品の動きが非常に継続して受注が確保できており、全般的に良くなっている。良い状況が継続する。	
	通信業（職員）	・小口案件は若干増加傾向にあるものの、大口案件は依然として伸び悩んでいる。この傾向は今後も続く。	
	広告代理店（従業員）	・月ごとの受注量の変動が大きく、先の見通しが立ちにくい。	
	広告代理店（従業員）	・テレビの正月番組の売行きは、その時々を反映する傾向があるが、今年は例年より契約の決定が遅い。やはり景気の厳しさを感じる。	
やや悪くなる	輸送用機械機具製造業（経営者）	・取引先の生産が減少している。景気は悪くなる。	
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・新規の受注が全くない。また海外依存がますます増大している。	
	輸送業（従業員）	・年末に大量の押し込みをかけて、何とかやっている。年明けは買い控えが予想されるため、悪くなる。	
	輸送業（総務担当）	・今月は衣料品、食料品、半導体、樹脂、その他全商品の荷動きが非常に悪かった。今のまま低迷していく。	
悪くなる	経営コンサルタント	・酒量販店の大型店舗を含めて再編が始まりつつある。ほとんどファンド会社に申込が殺到しており、かなり苦しんでいる。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・求人数は前月より若干増えている。労働力派遣法改正も後押しするため、業界の景気は良くなる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・半導体・液晶メーカーの勢いは、年明け以降も続く。	
	職業安定所（職員）	・製造業においてデジタルカメラ、半導体等の生産が好調である。また、大型商業複合施設のオープンするほか、大型の設備投資も実施されている。雇用情勢は良くなる。	
	民間職業紹介機関（支店長）	・福岡以外の地域における需要の伸びが著しい。販売努力の成果に加え、事務業務のアウトソーシング、情報処理・IT技術者の派遣需要等、以前都市圏で見られた現象が2、3か月遅れで見られる。事業分野の拡大が地方拠点都市にも浸透しつつある。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	・12月の季節特性が全くなく、新しいオーダーが増える兆しがみえない。先行きは暗い。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年、業界の求人は年明けから年度末にかけて急増する傾向にある。しかし、クーポン情報のフリーペーパーが盛んになっていることからわかるとおり、物販や飲食業では人材採用より広告宣伝費への資金投入が優先されている。アウトソーシングも競争が激化しており、採用コストをいかに抑えるかが、各社とも課題になっている。人材派遣業界も、せまいマーケットをめぐってすみわけが求められる時代になっている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まだ地場企業の動きが鈍い。月々によって変動が大きい。	
	職業安定所（職員）	・派遣、請負で人材を確保するという傾向は、今後も変わらない。	
やや悪くなる	-		
悪くなる	職業安定所（職員）	・今月に入り、地場大手建設会社が民事再生法を申請し、従業員の75%を解雇する等、倒産、解雇等が増加しつつある。関連企業への影響が心配される。	